

A Female Huck Finn?:  
Reading Together *The Secret Life of Bees* and *The Adventures of  
Huckleberry Finn*

Steve REDFORD

女性（版）のハック・フィン？

——『リリィ、はちみつ色の夏』と『ハックルベリー・フィンの冒険』を読む

この二つの小説を読めば、直ちに類似点に気づくだろう。両作品は、14歳の白人の主人公が、乱暴な父親から黒人の逃亡者と共に逃げる物語である。ただし、もちろん相違点も容易に認められる。『ハック・フィン』の主人公は男性であり、どこに落ちのびればいいかもわからぬまま、理不尽で残酷な例に事欠かない世界へと入っていく。一方『リリィ』の主人公は女性であり、向かうべき場所が最初から明確に判明しているので、慰めに満ちた癒しの世界へと至る。加えて言えば、両小説のナラティブ・ストラテジー、トーン、描かれた世界のテクスチャー、そして主人公の成長過程がかなり異なるため、これらの作品は昼と夜のように相違する読後感ももたらす。にもかかわらず、この論文の目標は、いくつか大きな相違点が認められるとしても、結局両作品の主眼点はほぼ同一であると証明することである。この点については、時代の違いもさることながら、性別が異なる作家の「女性性」(the Feminine) に対する態度も鑑みて考察する。ひいては、性の捉え方に応じて作家が選ぶ小説へのアプローチの特徴も見えてくるだろう。